

## 苗木地域づくりアンケートの集計から見た傾向分析

H30年11・12月  
事務局 近藤信幸

### 1、属性（概要）

#### 年齢構成

20・30代・・・19.5% : 10代5.7% 20代：7.8%

40・50代・・・30.1%

60・70代・・・36.1%

80代・・・ 8.7%

#### 世帯の構成

親子2代：50% 夫婦2人：19.7%

三世帯：20.2% 単身1人：5.6% 他：4.3%

・苗木に住み続けている人よりも外から入ってきた人の方が多くなっている

外からの居住者 55.8% 10年 11.5% 20年 10.9%  
30年 20.1% 40年 16.0%

苗木在住の者 44.1%

職業 サラリーマン 37.1% 自営業 8.0%

パートアルバイト 16.7% 農林業 2.4%

世帯の主な職業 サラリーマン 60.7%

自営業・農林業 10.4%

移動の手段 自家用車 87.8% (逆に公共交通手段を希望)

内、家族同乗 14.3%

2、住みよいと思う 29.9% まあまあ良い 41.3%

3、住み続けたい 48.5% 当分の間住みたい 23.3%

転居したい・できるなら転居 6.5%

#### 4、地域への愛着度

感じている 26.5% やや感じている 40.9%

#### 5、地域にあったらよいもの

交通の利便性がよい 16.3% 買い物が便利 14.4%

自然環境が豊か 11.3% 医療福祉が整っている 8.8%

・苗木外からの居住者が半数を超えていることが分かった アンケートの回答に与える影響も大きいだろうと考えられる

- ・ 全体として、苗木地域をよいところと認識しており、長く住み続けたい人が半数を超えている。その理由は、自動車交通の利便性や買い物に都合がよいことや自然が豊かななどが大きな要因ではないかと考えられる
- ・ 高齢化率は 60 歳以上が 44.8%と高く、将来の独居老人対策を含め、大きな課題になってくることが現れている
- ・ 就業業種のなかでは、農林事業者が 2.4%と低く農耕地の維持問題は避けて通れない地域課題となっていると考えられる
- ・ 交通弱者にとっては、移動手段がなく買い物、通院など厳しい状況がある

## 6、苗木城跡に関すること

知っていること	史跡指定など	28.4%		
城跡を誇りに思う	思う・やや	7%		
	あてはまらない	40%		
城跡を外に紹介したい	思う・やや	9.5%		
	思わない	33.0%		
城跡に観光客が来るとうれしい	思う・やや	7.8%		
	思わない	25.5%		
城跡の魅力発信に取り組みたい	思う・やや	32.0%		
	思わない・やや	21.6%		
城跡の魅力	絶景	25.2%	石垣	13.3%
	巨岩等	11.1%	お城の伝承・歴史	19.1%
城跡の魅力発信	景色・景観を活かす	31.7%		
	土産品の開発等	17.4%		
	歴史的魅力の発信	15.5%		
	SNS を利用して発信	14.3%		

- ・ 知っているかについては 国指定史跡・続 100 名城・山城ベストテン 1 位・岐阜の宝物認定などで知っているとの回答 92.5%の人が周知している
- ・ 誇りに思うかについては、思う人 9.5% そうでない人が 40%と苗木城跡の事を自分のこととして考えていない、関心の的になっていないことが分かった
- ・ 地域外に紹介したい人は、上記と同様に 9.5%と少ない
- ・ 観光客が来て嬉しく思うかについても同様に 7.8%と少ない
- ・ 魅力発信に取り組むことは 32%と一定あるので活動できる余地がある
- ・ 苗木城跡の魅力となる資源・発信に必要なことを大いに研究・活用して今後も粘り強くピーアールしていくことが必要である

## 7. 分野別の重要度／満足度について

### (1) 地域での付き合い

- \* ゴミステーションの管理 各年代で3位から7位と平均的に高い
- \* 防災・防犯や道徳河川維持などの活動が各年代1位から6位と高い
- \* 若者の地域への参加しやすさが、各年代で3位～5位と高い
- \* 消防活動は、各年代を通じて6位から8位と関心がある
- \* 自治会や近所付き合いについては、8位から11位と関心がある
- \* 祭礼は、重要度・満足度とも平均的に関心がある
- \* 夏祭り・スポーツ行事については、重要度・満足度とも低い
- \* 公園・神社などの清掃維持は、若者が高く年齢順に下がっている

- ・ごみステーション、地域美化など日常生活上必要度の高い事は、重要度、満足度とも高くなっており、地域コミュニティがまだ機能しているといえる。
- ・道路河川の維持、防災、消防、防犯、交通安全は、重要度が高いが満足度が低く これらについての課題を探る必要がある
- ・祭礼を除いて、夏祭り・スポーツ行事などについては重要度も満足度も低くなっており、区民の行事要望に見合っていないと考えられる
- ・自治会・近所付き合いや自治会役員についても重要度は高く理解はされているが、満足度が低く、その在り方に課題があるように考えられる
- ・祭礼については、神社行事であり、神道の伝統地域でもあり、現状ではそれほど抵抗なく維持されているように見える

### (2) 子育て、教育文化

- \* 子育て施設の充実が20代から60代まで重要度は高く満足度は低い
- \* 自然を生かした子育ての場、子どもの遊び場が各年代を通じて1位～5位と関心が高いが満足度が低い
- \* 子育て相談ができる場や人について重要度は高いが満足度が低い
- \* 学童保育への関心は対象年齢層に高く高齢層は低い。満足度は低い
- \* 子どもたちが挨拶してくれるは重要度が高く満足度も一定ある
- \* 保護者同士の交流の場について重要度があるが満足度は低い
- \* 生涯学習活動や文化的活動については20代～60代で関心が低い
- \* 日常的な不安や悩みの相談できる場や人については、3位～6位と各年代とも重要度は高いが、満足度が低い。
- \* 登下校の見守りにについては、保護者年代に高く、対象年齢層が低い
- \* 歴史や文化財愛護の活動や郷土料理継承などについては、各年代とも一定の関心がある

- ・登下校の見守り、子どもたちの挨拶などで一定の活動効果が現れている
- ・子育て施設の重要度が高いのは、児童館のような施設を要望していることの現れと見える
- ・自然を生かした子どもの遊び場については、フィールドアスレチックなどの施設・設備があればとの要求の表れではないか【過去に夜明けの森に該当する施設があったからかもしれない】
- ・子育て相談の場や人の重要度が高く、満足度が低いのは情報不足か
- ・学童保育の重要度は高く、満足度が低いことについては、内容をよく分析する必要があるように見える
- ・保護者同士の交流の場についても重要度は高く、満足度が低いことは、保育園保護者会、小・中 PTA の活動の内容について関係機関で文責検討する必要があるように見受けられる
- ・生涯学習・文化活動などへの関心が低いが、これは現状の公民館活動の内容が 利用対象者の要望などとマッチングしてなくて、不満足感が各年代に現れているように見える

### (3) 福祉、スポーツ、健康

- \* 買い物・通院の移動支援活動への関心が各年代ともトップ
- \* 生活支援について重要度が高くなっているが満足度は低い
- \* 高齢者の生きがい活動と生活支援が各年代とも 2 位から 4 位に入っており関心が高い
- \* 老人クラブの活動は、6 位から 9 位と低くなっている
- \* 高齢者のサロン、対象の行事へのお関心は、各年代中間的な位置にある
- \* スポーツ・レクリエーション活動は 2 位から 5 位と各年代で高い
- \* 各種スポーツ行事については、10・20 代を除いて低くなっている

- ・買い物・通院など移動手段への関心が高く、各年代で公共交通への不満感が出ており、地域の大きな課題となっている
- ・(高齢者の)生活支援についても上記と同様で日常的な満足度が低くなっていることから地域の課題として考える必要がある
- ・高齢者の生きがい活動やスポーツ、レクリエーションなどへの関心は高く重要度もあるが満足度は低い、これは実際の活動内容に満足されていないように見えるので内容分析をする必要がある
- ・実態としてのスポーツ大会への重要度、満足度が低いのは、区民の要望する内容とマッチングしていないように見える 今後の事業内容を研究する必要がある

#### (4) 苗木地域の産業観光振興

- \* 若者が住みやすく通勤がしやすいが 10 代～70 代まで 1 位だが満足度は全く低い
- \* 女性が働きやすい職場が 20 代～70 代まで 2 位と高いが満足度は全く低い
- \* 若者の起業については、10 代 80 代を除いて各年代 3 位 4 位と高くなっているが満足度は全く低い
- \* 苗木城跡の保存整備事業については、重要度・満足度も一定ある
  - \* 史跡名勝の案内板設置が各年代に 1 位から 9 位まで高齢者層から順に高くなっているが満足度が低い
- \* 苗木城跡の観光振興については 50 代 60 代 80 代が 5 位～7 位
- \* 観光客対応飲食店を設ける活動が各年代 2 位～4 位と高い
- \* 観光客への土産物開発が 30 代～70 代で 3 位から 7 位と関心がある
- \* 夜明けの森の観光振興について 20・30・40 代が 5 位 6 位となっており、宣伝普及が足りていない
- \* 奇岩を利用した観光振興各年代とも第 11 位と関心あり活用できる
- \* 区民としての観光客対応は 10 代を除いて関心が低い

・若い人たちにとって住みやすく便利だが、地域全般について魅力に欠けることがあるのか、満足度が低い これらに対する施策をどう考えるかが課題

・女性にとって働きやすい地域という点では重要度は高いが、満足度が低い。これは自動車通勤に利便性があるが、地元で働く場所が少ないことの反映であるように見えるので分析検討が必要である

・若者の起業については重要度が高いが、それが実現できる環境が見えていない 施策の立案が課題

・苗木城跡の保存整備については一定の関心がある

・史跡などの案内、説明看板などが重要度のわりに設置不足という実態が見えている 順次事業化する必要がある

・夜明けの森の活用については、ピーアール不足も含め、本腰を入れた観光推進計画を立案・具体化するときに来ている

・観光客への対応は同類の項目と同様に重要度はあるが、関心は低いという結果が出ており、具体策の実行に関する有効な手段が提示されていないことが要因であるように見える

#### (5) 苗木の地域振興・広報

- \* 道端のごみや草の整備について重要度は高く満足度が低い
- \* 環境保全・生活環境の維持については重要度が高く、満足度が低い
- \* 土地・空き家の対策について各年代とも高く 1 位から 3 位にあるが満足度が全く低い
- \* 地域の公共交通について各年代とも高く 1 位から 3 位である
- \* 買い物レジャーなどの利便性について各年代とも高く 20 代で 1 位各年代 3 位から 6 位である。しかし満足度は低い
- \* 定住者の受け入れについては 20 代から各年代とも高く 4 位 5 位であるが、満足度は全く低い
- \* 農地の維持管理については 30 代より上は切実感が出て 7 位から 10 位となっているが満足度は低い
- \* 山林管理は 11 位から 15 位となっているが満足度は低くなっている
- \* 広報誌の作成回覧では、各年代とも重要度、満足度は低くなっている
- \* IT 活用の住民向け広報について 20 代で 7 位 30 代以降でも 10 位までと重要度はあるが満足度が低い
- \* SNS を活用した広報については、IT と同様な結果になっている

- ・道路等のごみや草の整備や生活環境の維持など重要度が高く 一定の満足度もあり、各地域コミュニティの維持によって保たれているように見える
- ・公共交通への重要度が高く 満足度が全く低い この課題への対策は早急に取り組む必要がある
- ・買い物やレジャーなどの利便性などは重要度は高く、満足度は低い、他の項目とも関連するが公共交通に関する対策を大至急、施策立案して具体化を急ぐ必要のある地域課題となっている
- ・土地、空き家対策の重要度は高いが、満足度は低いので対策が急がれるが苗木地域では、空き家対策よりも遊休農地の対策を検討するかが先決のように考えられる
- ・定住者の受け入れは重要度が高く関心もあるが 対策が具体的に見えていない よって動きが出来ていない 課題としての捉え方が弱いのではないか
- ・農地の維持管理についても中高年者は切実な課題であるが、展望がなく行政との連携により具体施策を研究・提示することが急務であるように見える
- ・山林の維持管理も農地と同様で今後ますます深刻な地域課題となっていくように見える

・広報紙の一定の効果は見えるが、満足するものになっていない。広報誌の在り方などについて さらに研究・検討が必要である

・IT の活用と SNS の活用についても一定の要望があるのでまずは始めていく必要があるのではないか

\* 若い世代は新聞購読なども低くなっており、広報誌という紙媒体ではなかなか充実した区民への広報という方法は浸透しにくいのでいろいろな方法を考えて、各種の手段を講じて広報する必要がある

- ・ 紙で広報する内容……………研究する
- ・ SNS など IT による広報の内容……………研究する
- ・ その他の方法

8、総括的な評価

全区民に配布したアンケートで回収率が66.9%あったことは十分な効果を見る  
ことが出来る数字と考える。

9、苗木地域まちづくり推進協議会の活動方針立案に向けて

\*柱立て

未完成

\*重点

未完成

以上